

「七ヶ浜みんなの家 はまのわ」 地鎮祭

『七ヶ浜みんなの家 はまのわ』は七ヶ浜町／NPO 法人 HOME-FOR-ALL／NPO 法人レスキューストックヤード (RSY) の三者共同の、七ヶ浜町の集いの場・賑わいの場作りのための建物です。この企画に賛同頂いた(株)ロレックス、(株)サークルKサンクス (現：ファミリーマート) からの寄附金、又様々な企業や関係する皆様からのご協力・ご協賛をいただき建築されます。

完成後は町へ寄贈し、公共施設となりますが、運営は RSY が担います。いよいよ本格的な建設が始まりました。竣工は5月中旬～下旬を予定しております。

2017年2月1日(水)に『七ヶ浜みんなの家 はまのわ』の地鎮祭が執り行われました。建主である HOME-FOR-ALL (理事長:伊東豊雄氏、東日本大震災や熊本地震などの被災各地で「みんなの家」を建設されています)、設計の株式会社近藤哲雄建築設計事務所、施工主の株式会社シエルトナーの皆様に加え、七ヶ浜町長、副町長、教育長の3役を始め、町議会議長、町社会福祉協議会会長、役場職員、RSYからは常務理事の浦野、七ヶ浜事務局スタッフが参列しました。

宮司を務めて頂いたのは、地元の神社である「柏木神社」です。式次第により、鍬入れの儀(くわいのぎ)、玉串奉奠(たまぐしほうてん)が執り行われ、滞りなく終了しました。また、引き続きの神酒拝戴(しんしゅはいたい)の際には、寺澤町長から「子どもたちが気軽に訪れて、活き活きと過ごせる場所になってほしい」と激励の言葉を頂きました。

『七ヶ浜みんなの家 はまのわ』は、東日本大震災後、遊ぶ場所が少なくなり、居場所がない子どもたちのために様々なプログラムを組んでいく予定です。ただし、子どもたちだけでなく大人も、七ヶ浜町を訪れて下さる町外の方々のための「憩いの場」となるように、皆さんの『声』を大事にしながら、一緒に創り上げていきたいと考えています。



鍬入れの儀



RSY 浦野挨拶



完成イメージ図



集合写真

子どもの遊び場 七ヶ浜に 「みんなの家」5月完成予定



「みんなの家 はまのわ」の完成イメージ図

東日本大震災で大きな被害を受けた七ヶ浜町に、子どもたちの居場所や住民の交流の場として「みんなの家 はまのわ」が建築される。復興支援に携わる二つのNPO法人の共同プロジェクトで、町の中心部にあ

る生涯学習センターの敷地内に立地する。5月の完成を予定する。

「みんなの家」を被災地に建ててきた建築家が設立した「HOME-FOR-ALL」と震災直後から町で支援活動が続ける「レス

キューストックヤード」が、民間企業からの寄付金を基に建築する。

木造1階で延べ床面積は約90平方メートル。室内に間仕切りはなく、広々としたスペースを確保した。完成後は町に無償で譲渡され、レスキューが運営する。

レスキューは、子どもたちが勉強し、遊べるスペース「きずなハウス」を町内で運営しており、子どもたちが学年や学区の垣根を越えて利用している。完成後は活動場所をみんなの家に移し、引き続き子どもたちの居場所を提供する。

寺沢薫町長は「子どもたちが気軽に訪れ、発散できる場になってほしい」と期待。レスキューの浦野愛常務理事は「海や食べ物、人といった七ヶ浜の魅力を紹介するプログラムの場としても活用したい」と語る。